

目指します！

学校を核とした 地域づくり

☎社会教育課 ☎ 36-7963

地域学校協働本部事業 ってなに？

▷市では、「学校を核とした地域づくり」を目指して「地域学校協働本部事業」に取り組んでいます。地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるために、地域と学校が連携・協働しながら、さまざまな活動を行っています。

活動の様子を掲示→
(初倉南小)



↑ 地域で校内の花壇を整備
(川根小)



委嘱状を受け
取る推進員→

コーディネーターの役割を知りたい！

▷事業を推進するためには、社会教育法に基づき、教育委員会が委嘱する地域学校協働活動推進員(通称：コーディネーター)の役割が、必要不可欠です。

令和3年度から、全中学校区にそれぞれコーディネーターを配置。子どもの学習支援や家庭教育支援など、地域ぐるみで子どもたちを支えるため、コーディネーターが学校や地域住民、企業、団体などとの連絡調整を行い、地域ボランティアの募集などの役割を担います。

【コーディネーターの主な業務】

- 地域の教育支援活動における連携の調整
- 学校や地域団体などとの連絡調整
- 学校ボランティアとの交流・情報交換 など

※事業の詳細は、市ホームページをご覧ください。



これまでに地域ボランティアが実施した活動(一部抜粋)

- | 家庭教育支援員として子どもを支援 | 読み聞かせボランティア活動 | 家庭科ミシンの授業の補助 |
- | ホタル観賞ツアーの開催 | 防災で地域と連携 | 学校内を消毒するボランティア活動 |
- | 学校花壇の整備などの環境美化活動 | 子どもたちがデザインしたイルミネーションを校門前に設置 |